

株式会社 北前館

決算書類

第 33 期

自 令和 5 年 10 月 1 日
至 令和 6 年 9 月 30 日

決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

株式会社北前館 第33期営業報告

1 事業の概要と成果

新型コロナウイルス感染症はまだ収束には至っていませんが、観光客の出足は回復基調にあり賑わいを取り戻してきました。トップシーズンの7月、8月には台風の影響があったものの天候に恵まれ、前年を上回る結果となり、年間総売上額は52,663千円となり、前期対比で5.7%伸びました。

温泉部門は、2月に竹野温泉の不具合が発生し、代替泉源の確保まで水道水を沸かして半額で営業いたしましたが、ポイントカードや「風呂の日」が好評で売上額は20,583千円、前期対比112.0%となりました。

特産品部門は、週2回の農産物販売が定着し、地元のお客様の利用が増えています。また、観光協会と共同で「誕生の物語」を創作し、売店にコーナーを設け誕生に纏わる商品をまとめてアピールしましたが、売上額は7,809千円、前期対比97.2%にとどまりました。

駐車場部門は、営業期間を海開きの日から8月の最終日曜日までとして運営しました。期間中は天候に恵まれ、売上額は11,562千円、前期対比118.3%となりました。

また、新たな事業として上半期中にマウンテンバイクの導入を検討し、4月から事業を開始しましたが、PR及び関係団体との連携不足もあり、大きく売り上げを伸ばすことはできませんでした。アクティビティ部門の売り上げはジオカヌーを含め1,292千円、前期対比128.0%となりました。

レストラン部分の利活用として「チャレンジショップ」や夏季の繁忙期に営業を委託して売り上げを伸ばす計画でしたが売上額は592千円にとどまりました。

今期の総売上額は52,663千円、前期対比105.7%で経常利益は646千円、税引き後の当期純利益は436千円となりました。

今後とも更なる経営改善及び利便性向上に向けて努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、第33期の営業報告とさせていただきます。

2 売上状況

(単位：千円)

部 門	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	アクティビティ	その他	合 計
売上高	20,583	7,809	9,847	11,562	1,292	1,570	52,663

3 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第 29 期	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期
	令和 2 年 9 月	令和 3 年 9 月	令和 4 年 9 月	令和 5 年 9 月	令和 6 年 9 月
売 上 高	44,320	40,370	47,253	49,834	52,663
経 常 利 益	301	△2,433	786	1,352	646
当 期 利 益	3,390	△2,642	575	1,141	436
一株当たり当期利益	6,780	△5,285	1,151	2,283	872
総 資 産	72,836	62,773	62,022	39,572	45,511
純 資 産	△18,142	△20,784	△20,209	△19,067	△18,631

4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成 3 年 10 月 7 日
- (4) 事 業
- ア 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
 - イ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
 - ウ 公共施設の維持管理に関する事業
 - エ 駐車場の管理運営に関する事業
 - オ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
 - カ 温泉の配湯に関する事業
 - キ 公共的団体の事務局に関する事業
 - ク 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
 - ケ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ア 発行済株式の総数 500 株
 - イ 発行価格 1 株当たり 50,000 円
 - ウ 当期末株主数 129 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

5 社 員

(単位：人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 令和5年9月30日	3	3	6
当期末 令和6年9月30日	3	3	6
増 減	0	0	0

6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	太田垣 健 作	
取 締 役	宮 嶋 俊 夫	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	濱 松 淳	
取 締 役	藤 原 誠	
取 締 役	福 井 正 幸	
監 査 役	田 中 律 也	
監 査 役	石 田 敦 史	

決 算 報 告 書

第 33 期

自 令和 5年10月1日

至 令和 6年9月30日

株式会社 北前館
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

貸借対照表

株式会社 北前館

令和6年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(42,662,611)	流動負債	(13,206,366)
現金・預金	41,259,550	買掛金	173,756
売掛金	440,279	短期借入金	1,000,000
棚卸資産	925,014	1年以内返済長期借入金	6,048,000
前払費用	44,550	未払金	3,200,448
仮払金	22,515	リース未払金	1,416,560
貸倒引当金	△29,297	未払法人税等	211,000
		未払消費税等	1,015,000
		預り金	141,602
固定資産	(2,848,479)		
有形固定資産	(2,835,479)	固定負債	(50,936,000)
建物	499,984	長期借入金	50,936,000
構築物	17,617		
工具・器具・備品	445,897	負債の部計	64,142,366
車両運搬具	1		
一括償却資産	455,420	(純資産の部)	
リース資産	1,416,560	株主資本	(△18,631,276)
		資本金	25,000,000
無形固定資産	(0)		
		利益剰余金	(△43,631,276)
投資その他資産	(13,000)	利益準備金	800,000
出資金	13,000	その他利益剰余金	(△44,431,276)
		繰越利益剰余金	△44,431,276
		(うち当期純利益)	(436,078)
		純資産の部計	△18,631,276
資産の部計	45,511,090	負債・純資産の部計	45,511,090

損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 令和 5年10月1日

至 令和 6年9月30日

科 目	金 額	
【売 上 高】		円 52,663,852
温泉浴場売上高	20,582,980	
特産品店売上高	7,808,719	
受託料	9,847,220	
駐車場整理料	11,562,000	
アクティビティ	1,292,600	
その他	1,570,333	
【売上原価】		5,618,671
期首棚卸高	454,219	
仕入高	5,543,586	
合計	5,997,805	
期末棚卸高	379,134	
売上総利益		47,045,181
【販売費及び一般管理費】		45,813,784
営業利益		1,231,397
【営業外収益】		3,431
受取利息	3,031	
受取配当金	400	
【営業外費用】		588,750
支払利息	588,750	
経常利益		646,078
【特別利益】		1,000
貸倒引当金戻入	1,000	
【特別損失】		0
税引前当期純利益		647,078
法人税等充当額		211,000
当期純利益		436,078

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 令和5年10月1日
至 令和6年9月30日

科 目	金 額	
		円
給与・手当	15,204,297	
広告宣伝費	353,876	
発送配達費	9,218	
役員報酬	840,000	
法定福利費	1,359,670	
福利厚生費	135,329	
減価償却費	1,031,440	
賃借料	403,676	
修繕費	845,825	
事務用消耗品費	87,765	
通信交通費	1,016,377	
水道光熱費	14,664,712	
租税公課	1,982,100	
会費負担金	508,910	
接待交際費	8,504	
保険料	584,037	
備品・消耗品費	1,584,816	
支払手数料	3,751,327	
車両関係費	80,000	
リース料	535,216	
雑費	826,689	
合 計		45,813,784

棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

令和6年9月30日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	379,134	
貯 蔵 品	545,880	
合 計		925,014

株主資本等変動計算書

株式会社 北前館

自 令和 5年10月1日

至 令和 6年9月30日

(単位：円)

	株主資本						評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金					
当期首残高	25,000,000			800,000	△44,867,354		△19,067,354		△19,067,354	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純利益					436,078		436,078		436,078	
当期変動額合計					436,078		436,078		436,078	
当期末残高	25,000,000			800,000	△44,431,276		△18,631,276		△18,631,276	

	利益剰余金の内訳				
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	800,000			△44,867,354	△44,067,354
当期変動額					
剰余金の内訳科目間の振替					
剰余金の配当					
当期純利益				436,078	436,078
当期変動額合計				436,078	436,078
当期末残高	800,000			△44,431,276	△43,631,276

個別注記表

株式会社 北前館

自 令和 5年10月1日
至 令和 6年9月30日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却方法
 - ア リース資産
定額法を採用しています。
 - イ 有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
 - ウ 無形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - ア 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
 - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 18,137,120 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
 - (1) 一株当たり純資産額は、△37,262.55 円です。
 - (2) 一株当たり当期純利益は、872.15 円です。

監 査 報 告 書

1 監査対象期間（第33期）

自 令和5年10月1日

至 令和6年9月30日

2 監査概要

私監査役は、株式会社北前館の第33期の営業年度における経営状況について、令和6年10月18日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類、並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作でした。

3 監査結果

(1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し、財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の会計状況を正しく表示していると認めます。

(2) 取締役の職務遂行に関する不正行為、又は定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見

私監査役は、毎月の取締役会に出席し取締役による経営検討執行状況を確認するほか、日頃より従業員の勤務状況等も注視してきました。

新型コロナウイルス感染症は今だ収束には至ってはおりませんが、観光客も回復傾向にありコロナ禍前の状況に戻ってまいりました。しかし、依然として世界情勢の激変による原油高騰に伴う光熱水費等は高値で推移し、厳しい経営となりました。

温泉部門における夏場のサウナの利用制限や入浴時間の短縮、さらに竹野泉源の不具合に伴う代替泉源の確保までの対応など、制限を余儀なくされる経営でありましたが、ポイントカードや風呂の日の設定など、販売にも工夫を施され、併せて夏場の好天にも恵まれ、多くの来館者で賑わうことに繋がりました。ただ、今期の新規事業である「サイクリング事業」と、レストランエリアの利活用策である「チャレンジショップ」をスタートされましたが、PR不足と関係団体との調整の遅れにより、大きく売上げを伸ばすには至りませんでした。

このようなことから、特産品売上也含め前期を下回る結果でしたが、温泉、駐車場部門での売上が前期を大きく上回る結果となり、総売上額は前期の105.7%に達しました。しかしながら、経常利益は前期を下回る黒字額にとどまりました。

今後も引続き物価高騰と景気の下振れにより、厳しい経営状況は続くものと考えられますが、引き続き株主や地域の皆様の理解や協力を受けながら、取締役及び従業員全員が一丸となり、さらに努力されることを切に望みます。

令和6年10月18日

監査役 石田 敦 史



株式会社 北 前 館

代表取締役 太田垣 健 作 殿

株式会社北前館第34期事業計画及び収支計画

1 事業計画

新型コロナウイルス感染症による風評も収まり、徐々に利用客が戻りつつある中、引き続き感染症防止対策を徹底しながら、着実な収益向上を目指し、役員職員一丸となって各部門の事業を展開してまいります。

温泉部門は、引き続き水道光熱費等の経費削減を図りつつ、気持ちよく入浴していただけるよう設備の適切な維持管理に努めるとともに、好評いただいております「ポイントカード」や「風呂の日」は継続して実施してまいります。加えて、日頃のご愛顧に感謝するため入浴料を半額にする取組やカニスキーズン等の繁忙期における営業時間の延長等を実施します。

特産品部門は、週2回の農産物販売を継続実施してまいります。土産物などは店内レイアウト等の見直しを図って、お客様が買い物をしやすい環境を整え、市内で製造される商品を前面に出しながら売上額の増加に努めてまいります。

アクティビティ部門のジオカヌーは、安全基準を遵守するとともに、インストラクターのスキルアップを図り、安全に実施できるよう努めてまいります。また、前期から事業開始しましたサイクリング事業については城崎温泉との連携を強化して、外国人旅行者の利活用の増大を図ります。2事業とも総合予約サイトの活用を拡大するとともにホームページのリニューアルを図って広くPR出来る体制を確保してまいります。

レストラン部門は、夏季は海水浴場の魅力ある環境づくりの一環として人気店へ営業を委託し、利用者の増大を図ってまいります。また、その他の期間は新たに飲食店等を開業したい方々のチャレンジショップとして活用し、女性、若者、移住者等の市内での活動を支援し、協働してまいります。

また、観光協会と共同で創作した「誕生の物語」については、ジオガイドやサイクリング事業で積極的に紹介していくとともに特産品店では「誕生の物語」コーナーで関連商品のPRを行い、竹野地域の新たな観光資源としてブラッシュアップしてまいります。

外国人旅行者等の新たなお客様の利便性向上を図るとともに、「かぜまちミュージアム」を有効活用して北前船文化の伝承やジオパークの普及を図り、竹野地域の魅力発信の中核施設としての機能を果してまいります。

今後とも、この北前館が竹野地域の交流人の核施設となるよう運営してまいりますので、株主の皆様を始め、地域の皆様に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 令和 6年10月1日
至 令和 7年9月30日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売 上 高】		57,000
温泉浴場売上高	21,500	
特産品店売上高	10,000	
受 託 料	10,000	
駐 車 場 整 理 料	9,500	
ア ク テ ィ ビ テ ィ	3,300	
そ の 他	2,700	
【売 上 原 価】		6,500
期 首 棚 卸 高	379	
仕 入 高	6,621	
合 計	7,000	
期 末 棚 卸 高	500	
売 上 総 利 益		50,500
【販売費及び一般管理費】		45,951
営 業 利 益		4,549
(営業外損益の部)		
【営 業 外 収 益】		3
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	1	
雑 収 入	1	
【営 業 外 費 用】		552
支 払 利 息	552	
経 常 利 益		4,000

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 令和 6年10月1日

至 令和 7年9月30日

科 目	金 額	
		千円
給 与 ・ 手 当	15,832	
広 告 宣 伝 費	320	
発 送 配 達 費	80	
役 員 報 酬	840	
法 定 福 利 費	1,400	
福 利 厚 生 費	240	
減 価 償 却 費	852	
賃 借 料	415	
修 繕 費	600	
事 務 用 消 耗 品 費	150	
通 信 交 通 費	1,070	
水 道 光 熱 費	14,400	
租 税 公 課	2,000	
会 費 負 担 金	600	
接 待 交 際 費	100	
保 険 料	670	
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,410	
支 払 手 数 料	3,883	
車 両 関 係 費	100	
リ ー ス 料	354	
雑 費	635	
合 計		45,951